

学年	高校 1 年	教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	2
教科書名		家庭基礎（開隆堂）		副教材名	なし		
コース・クラス		N進					

1. 目標

人の一生と家族・家庭、衣食住・消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。
 学習した知識や技術を生かして、生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と
 実践的な態度を育成することを目指す。

2. 授業のねらい

知識を理解するとともに、実践的・体験的な学習を通して、よりよい生活を営む力を育み、学習した知識や
 技術を実生活に活かすことができる。

3. 授業の進め方

- (1) 教科書を中心に授業を展開し、プリントを使用して知識の定着を図る。
- (2) 適宜実習を行い、実践的・体験的な授業を展開する。

4. 学習上の留意点

- (1) 教科書、授業プリントを必ず用意して授業に臨むこと。
- (2) 普段の生活と関連づけて考えること。
- (3) 提出物の期限は必ず守ること。

5. 定期試験

- (1) 教科書と授業プリントの内容に基づいて出題する。
- (2) 定期試験の範囲（予定）
 - 1 学期 期末試験 : 「消費・住生活」について。
 - 2 学期 期末試験 : 「食生活・保育」について
 - 3 学期 学年末 : 「被服」について

6. 評価方法

定期試験、提出物の提出状況と内容、授業の取り組み方などを総合的に評価する。

7. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	弁当の献立作成	定期試験	・ 弁当づくりの基本を理解する。
	5	消費行動と意思決定 資産形成 生涯の経済計画	作品（ライフプラン 弁当の献立表など）	・ 将来の自分のライフプランを考える。 ・ 株式や債券、投資信託など基本的な金融商品の特徴を理解する。
	6	住生活	提出物	・ 日本の住居の変化について理解する。
	7		意欲・態度	・ 住空間の構成と計画の変更について考える。
二学期	9	食生活の課題 食品と栄養 食事の計画	定期試験	・ 健康と栄養のバランスを考えた食事とのかかわりについて理解する。
	10	（食事バランスガイド）	作品（食事バランスガイドなど）	・ 食生活を見直し、よりよい食生活を実践する。
	11	子どもの発育と保育	提出物	・ 妊娠～出産、子どもの成長について理解を深める。
	12	調理実習	意欲・態度	・ 調理の基本を身に付ける。
三学期	1	被服製作	定期試験	・ 基本の手縫いを習得する。
	2	被服について	作品（ペンケース）	・ 被服の機能と着装について理解を深める。
	3	調理実習	提出物 意欲・態度	・ 調理の基本を身に付ける。

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。